

協機工業股份有限公司 CSRレポート

事業内容: 低圧および高圧ゴムホース、コンパウンドマスターバッチの生産・販売
敷地面積: 30,464m²
従業員数: 126人
所在地: 中歴工場: 桃園縣32057中歴市中歴工業区西園路99號
 TEL: +886-3-451-4015 FAX: +886-3-4512969
 苗栗工場: 苗栗縣36647銅鑼鄉中興工業區中興路91號
 TEL: +886-37-22-2991 FAX: +886-37-222985



社長ご挨拶



松元 剛

協機工業は、1979年に創業し、1990年から横浜ゴムとの合併会社として横浜ゴムグループの一員となりました。台湾国内に2工場を持ち、低圧および高圧ゴムホースとコンパウンドマスターバッチを製造しています。当社は環境と安全を経営の重要な柱として、2001年にISO14001の認証を取得し、地域の一員として環境負荷低減のために活動を行ってきました。具体的な活動として製造では、ホースをつくるために必要なマンドレル(芯体)、加硫時の被覆材(モールド)といった補助材料のリサイクル回数増加の推進、ハード、ソフト両面での設備改善によるエネルギー効率アップを実施してきました。設計面では、横浜ゴムの技術によりガ

スの透過を極小化する内面樹脂タイプホースの拡大を進めてきました。2007年には、労働安全衛生の管理システムであるOHSAS18001も取得し、品質面でのISO9001を加えた3つのマネジメントシステムを活用して全員参加により地球に優しい製品をつくり、横浜ゴムのGD100のローガンである「トップレベルの環境貢献企業」になるために努力を続けています。

環境への取り組み

2010年度環境方針

- (1) 全員の参加と努力で環境汚染と労働災害予防活動を行う。
- (2) 環境管理システムと安全管理システムにより環境汚染と労働災害発生を防止する。
- (3) 法律に従い規制の要求値を守り改善を行う。
- (4) 6S活動を実行して環境整備を進める。
- (5) 環境に貢献する商品開発を行う。

環境データ (年度は1月～12月)

廃棄物埋め立て率は、2008年度より65%削減しました。引き続き、ゼロエミッションを目指し、取り組みを進めていきます。温室効果ガスは、前年度比39%削減しました。

項目	2007年度	2008年度	2009年度	
廃棄物発生量(t)	152	247	185	
埋立率(%)	—	36.9	13.2	
エネルギー使用量 (原油換算:千kl)	電力	0.77	1.18	0.57
	燃料	0.30	0.21	0.14
	合計	1.07	1.39	0.71
温室効果ガス排出量(千t-CO ₂)	2.49	2.69	1.65	
水使用量(千m ³)	10.0	9.1	6.9	
有機溶剤排出量(t)	—	4.7	3.2	

※2009年度の温室効果ガス排出量の算定は、日本の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用。

環境／安全政策

1. 協機工業は環境/安全に対してもっと関心を示せば、生活環境と仕事に対して安心できる。
2. 我々は全員参加のもと、環境汚染、職業災害を予防し、管理システムを文書化し、目標を設定する。
3. 環境/安全に関する法律を遵守するとともに、地域利害関係者の要求に応える。
4. 産業廃棄物の削減、安全自主検査、環境監査、安全監査を実施するとともに、改善を実施する。
5. すばらしい生活環境を作るとともに、人類の環境と自然を守り、環境をやさしくして、環境と人類との良い関係を構築する。
6. 安全法令その他の法令を遵守し、心と知恵で対応し、我々の生活を豊かにします。
 - (1) 全員参加
 - (2) 環境汚染、職業災害予防
 - (3) 法令を遵守し、維持改善
 - (4) 6S活動
 - (5) 環境／安全商品の開発

2010年度は、全員標準体重以内を目指す健康面、切創災害の撲滅等を中心に個人の安全衛生面の意識向上を図ります。また、不安全行動等についての教育・訓練を実施します。

地域とのコミュニケーション

2009年度にいただいたご意見

2009年度に寄せられたご意見は、特にありませんでした。

工場周辺の清掃活動

毎年1月に工場から工業区の中にある廟までの道路を従業員全員で清掃しています。



海岸清掃活動への参加

2009年からは、年に1回、苗栗縣が主催する地域美化活動である海岸の清掃活動に苗栗工場として参加をしています。

